

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：9月ドイツ製造業受注

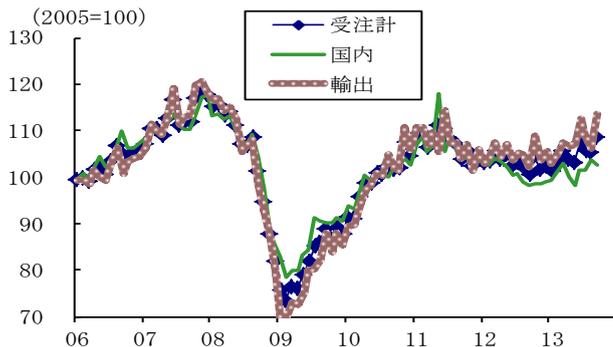
発表日：2013年11月7日(木)

～大型案件にも支えられ受注回復～

第一生命経済研究所 経済調査部  
 首席エコノミスト 田中 理  
 03-5221-4527

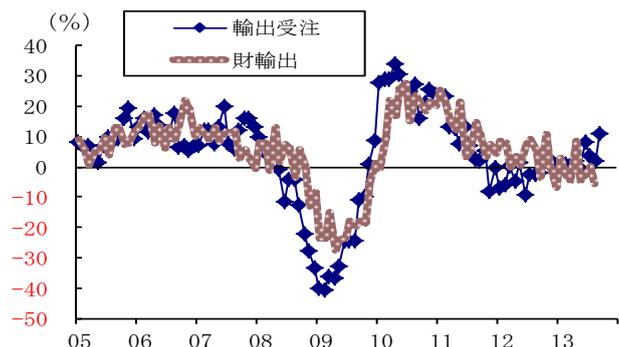
- 9月のドイツの製造業新規受注は前月比+3.3%と過去2ヶ月の落ち込みを取り戻し、今次サイクルのピークを更新した(左図)。内外受注の内訳は、国内受注が同▲1.0%と減少した一方、輸出受注が同+6.8%と急伸。輸出受注の内訳は、ユーロ圏向けが同+9.7%、非ユーロ圏向けが同+5.1%といずれも高い伸びを記録した。財種別には、資本財(同+5.5%)、中間財(同+0.2%)、消費財(同+2.7%)が揃って増加した。資本財の増加を牽引したのは主に輸出向けの大型輸送機械で、これは大型案件による上振れの可能性がある。消費財の増加を牽引したのは主に輸出向けの非耐久消費財。
- 設備投資に1四半期程度の先行性がある資本財受注(変動の大きい大型輸送機械を除く)は、前月が大きく増加(同+5.5%)した反動もあり、同▲0.4%と小幅減。3ヶ月前対比年率(3ヶ月移動平均)では+3.3%と増加トレンドを維持しており、設備投資は緩やかな回復基調の継続が示唆される。
- 輸出受注は振れを伴いながらも水準を徐々に切り上げており、減少傾向にある財輸出も今後底打ちに向かうことが予想される(右図)。I f o企業景況感やPMI製造業指数に頭打ち感もあり、ユーロ高進行と相俟って、先行きの企業活動の鈍化も懸念される。ただ、今回の受注統計や各種サーベイ調査でも、輸出受注の増加トレンドは継続している。資本財を中心とした非価格競争力の高さ、強いマルク時代と比べたユーロの割安感、海外景気の持ち直しを考えれば、輸出の持ち直しが続く公算。

■ドイツ：製造業新規受注(季調値)



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツ：輸出受注と財輸出の推移(前年比)



出所：ドイツ連邦統計局

■ドイツの製造業受注(季節調整値、実質、前期<月>比、%)

	2012				2013								
	4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
製造業受注計	0.9	0.5	1.4	1.6	2.0	2.2	-1.7	-0.7	4.5	-2.0	-0.3	3.3	
資本財	3.0	-6.3	1.8	2.6	3.0	1.7	-2.3	-0.8	8.0	-3.6	-0.5	5.5	
資本財(除くその他輸送機械)	-0.8	0.3	2.6	0.9	1.0	2.6	-1.0	1.6	1.5	-4.0	5.5	-0.4	
中間財	-0.2	0.5	0.2	0.7	0.9	3.4	-2.3	0.1	-0.2	0.7	0.0	0.2	
消費財	-0.1	-2.2	4.2	-1.4	0.1	0.1	5.9	-2.6	0.1	-0.9	-0.9	2.7	
耐久消費財	-6.3	4.0	2.4	-2.9	-0.4	2.8	-0.1	-2.2	6.9	-6.5	2.6	-4.6	
非耐久消費財	2.0	-4.1	4.8	-1.0	0.3	-0.9	8.1	-2.8	-2.2	1.1	-1.9	5.1	
国内受注計	-0.6	2.4	-1.2	2.5	2.1	1.8	-2.9	-1.8	3.5	-0.2	2.1	-1.0	
輸出受注計	2.0	-1.0	3.4	1.0	1.9	2.5	-0.7	0.2	5.1	-3.1	-2.2	6.8	

出所：ドイツ連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。